

# パブリックコメント結果 とりまとめ

# (1) パブリックコメント結果とりまとめ

■ 概要：[期間] 2018年1月26日(金)～2月15日(木)  
[人数(件数)] 17名 (33件)

意見の分類		件数
現状と課題、目指すべき姿	事業の推進	13件
	観光振興	1件
	災害への備え	3件
	地域医療の充実	4件
	構想路線	4件
留意事項		4件
その他全般		4件
合計		33件

## (2) 意見の概要と県の考え方 (1/3)

■ 概要：[期間] 2018年1月26日(金)～2月15日(木) [人数(件数)] 17名 (33件)

		意見の概要	県の考え方
現状と課題、 目指すべき姿	事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渋滞等により、東西、南北方向ともに移動時間がかかる。基幹道路の早期整備により暮らしやすくなる。</li> <li>・ 加古川・姫路バイパスに替わる道路は必要。</li> <li>・ 基幹道路ネットワークの充実による県北部、中部の地域活性化が、県全体の活性化、人口増加につながる。</li> <li>・ 大規模災害発生時のアクセス経路の確保などが期待できる東播丹波連絡道路は、丹波地域に欠かせない重要な道路。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修繕・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指す。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IC周辺の整備や集客施設の活性化などを地域とともに進めていくことも大事。</li> <li>・ 地方への立ち寄りを増やすため、基幹道路の整備と連動した地域道路の整備を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の道路の整備や有効活用を進める。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の事業は、国の事業より進捗が遅い。山陰近畿自動車道の整備も国の直轄事業で進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料道路事業や国による直轄権限代行事業など、多様な整備手法の活用により、早期整備に努める。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但馬地域は、道路(自動車)しか交通手段がなく、基幹道路の整備とともに、国道9号や身近な県道、市道の整備も進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の実情に合わせて道路整備を進める。</li> </ul>

## (2) 意見の概要と県の考え方 (2/3)

■ 概要：[期間] 2018年1月26日(金)～2月15日(木) [人数(件数)] 17名 (33件)

		意見の概要	県の考え方
現状と課題、 目指すべき姿	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨海部のミッシングリンクのため、好調なインバウンドを活かせていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修繕・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指す。</li> </ul>
	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但馬では、大雪などにより国道が大渋滞するため、災害に強い道路の早期整備を望む。</li> </ul>	
	地域医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の代替路確保や救急医療の速達性強化は、安心・安全を守る大きな役割を果たし、人口増加、活性化につながる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香住から豊岡病院へは30分程度だが、緊急時には遠く感じる。道路整備により時間が短縮されれば安心。</li> </ul>	
	構想路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篠山、東播方面等から県立丹波医療センターへのアクセス強化が必要。</li> <li>・ 淡路島内の山間部では基幹道路へのアクセスが悪く、3次医療機関への到達時間短縮に向けた対策が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の実情に合わせて道路整備を進める。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の産業発展の観点からも、北播磨から神戸港や神戸空港へ通じる道路は重要。</li> <li>・ 農畜水産物の販路拡大等や大規模災害時に代替路として期待できる紀淡海峡ルートへの整備は重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想路線については、社会経済情勢等の変化に応じて整備の必要性を検討する。</li> </ul>

## (2) 意見の概要と県の考え方 (3/3)

■ 概要：[期間] 2018年1月26日(金)～2月15日(木) [人数(件数)] 17名 (33件)

	意見の概要	県の考え方
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財源確保および負担のありかたは重要であり、利用することのメリットを継続して訴えていくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の道路の整備や有効活用を進める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災での櫛の歯作戦など、具体例を挙げて基幹道路ネットワークの必要性を示すことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会をとらえて基幹道路ネットワークの整備効果や必要性をわかりやすく紹介して、PRする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北近畿豊岡自動車道の4車線化について、実現に向けた活動を期待。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暫定2車線時の安全対策に配慮しながら、ネットワークの完成を優先して進める。</li> </ul>
その他全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとに今後の維持管理方針を設定することで、あり方がよりわかりやすくなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性に応じた維持管理を行うことは重要な視点であり、既存の基幹道路ネットワークを適切に維持管理する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動時間の短縮が、人口減少対策につながっているのか疑問。</li> <li>・地方での高齢者や若者の定住に期待できないと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少下においても、基幹道路は地域間の交流拡大等を支える社会基盤。市町の地域活性化策とも連携を図る。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あり方は、持続可能な地域づくりを進め、将来の地域社会の活性化に繋がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修正・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指す。</li> </ul>